

産穢
取扱書指
取扱書指

雄素子卷八思

73
6367



73
6367

五
味
均
平
藏

○目錄

去
五
味
均
平
藏

和
永
冊
26
01

670

一

少男八以下口役人及大病備一及及及及及及及及及及

二

楊漢以下役者子孫及及及及及

三

省病引也日路事

四

將幼年之父母之

即日見以弟之也姊之服忌下書圖事

拾一

跡目類之事

拾一

相續類一式并色止子乾

拾一

服忌届一式

拾一

病引人通子形

拾一

淨信致并淨信別公也

拾一

産禱届方 止毒坐禱届也

迎比律後止一札也

拾一

病中同臥届

拾一

差扣同中同臥届

拾一

口惟并義絶人後忌届方

拾一

届方并止産届并病引届方

拾一

此取下束紙同臥届方

拾一

服忌届振り留り也

拾一

病絶書状文格

拾九一

運箇兒已兼引去取投

細重の股忘宿

二十一

看病人於

二十二

幸家之病兒身誠世活致子何事

享和元年三月廿八日

去

一

四圍人衆初の頃人及大病の身候。是後乾候節
之如金木江戸表等へ運こま候こ以来は四圍人
元初動役中甚及大病の身候。是後乾候節
及奉

却

一

及大病の身候節乾候節、之如中程以下

是又壬午年... 表... 區... 水... 如... 苗... 大... 切...
好... 既... 也... 節... 心... 以... 第... 十... 第... 十... 第... 十... 第... 十...
給... 人... 以... 之... 斗...
從... 自... 於... 壬... 午... 年...

二
一
楊... 氏... 下... 水... 邊... 將... 卒... 老... 遠... 國... 日... 奉... 公... 之... 外...
滿... 治... 亦... 誠... 以... 所... 復... 妻... 子... 終... 沒... 而... 早... 如... 之... 未...
能... 自... 食... 之... 也... 以... 未... 及... 之... 故... 也...

四
一
天... 順... 元... 辛... 未... 年... 七... 月... 廿... 日...
者... 病... 日... 較... 引... 也... 故... 女... 日... 治... 未... 也... 故... 古... 日... 較... 之... 外...
看... 病... 引... 也... 故... 也...

六
一
將... 初... 年... 之... 日... 父... 孫... 也... 之... 故... 也...
亦... 自... 是... 日... 中... 上... 也... 故... 也... 之... 故... 也... 忌... 服... 屆... 也... 用... 人...
自... 有... 也... 之... 故... 也... 之... 故... 也...

七
二
月

一 跡目親書取次等々人等係等々人等書等々人等

等々等々

上等内
由一切上等上等

奉願口上等貴

私儀以

中厚恩候結構云云 正任重事及後云云

此片其如至担難有仕公事好公事等々處

實

一 中判

三

一 市用留

河帳

一 書付款

河

布一巾下中判之付款之河帳

河

帳
河

川用入百付會上相納年

一

天保十二年四月廿六日女友右馬也天大病牌出席也

拾二日

中判、市用留、書付款、未若年、月七、八、九、十、十一、十二、

昔代江度院大月云流双方是年、是、是、是、是、是、是、

下是也、右大月云、尤其、少、是、是、是、是、是、是、

大病牌流、是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、

是、是、是、是、是、是、是、是、是、是、

一
長生口部書力(母)

一 相續、畔、字、若、弘、去、以、在、每、一、字、至、以、
一 大、和、尼、云、方

奉願口上之贊

私儀次

印原恩後之結構也

公之其如重、超、難、有、公、奉、存、心、以、如、行、之、其、
引、通、事、至、通、所、進、之、如、設、公、舟、難、其、腹、用、使、
種、之、療、表、其、心、解、去、一、病、致、混、之、私、以、一、五、

別と大勝中今相方病婦立重中後二仕婦
之自座の首若古果のく娘にて取合相意之具
人出未入志古机事乾具名河く之續并抑
之月續柄之若古座の首兼く之言仕の
汲名河く河く雅くく古教並く月く後古
事乾のく河年次
抑意想如何故之有誤或之誤也

作有下下重古机仕度其後古乾の古若古
のく河象古の年古中く古治之可く下古
以上

月日
河之准 后判事

中用入友

中小性以下案文

其後古機の古河下古若古成くく下古のく

但此上より一箇の漢字一とせしは及名
よき徳事一

楊氏下より

前文

和漢小調法者、少座りぬ

中厚圓、
〇形

以持筒括以

中支能柳中區之節と一とすべし

小級人
小級人

之節去

柳之り

是則之者

字之毎

口鏡上少級字の口也少級
母廣字類の口

尤も、口字と口字とを
は、口上より付あはす

杖、下、口、付、口、料、理、人
口、唇、之、以、付、口、字、類、也

旧为甚切
上巻

口上

河上誰汝以月引也... 種々摩其仕
以海天一舟... 相勝... 於
病麻... 彼... 仕... 相承...
嫁... 可... 公... 爲... 人... 亦... 入... 志... 乱... 聖... 願
具... 所... 托... 下... 亦... 於... 草... 月... 流... 孔... 存... 松... 也... 可

事於いり以

中意悲... 終... 海... 舟... 車... 所... 結... 其... 後

以... 之... 至... 下... 之... 以... 以... 以...

月口

河上誰

河上誰

一 右類書... 利... 見... 南... 相... 海... 以... 少... 於... 松... 塚
河上誰

河之雅病其甚也其于今 列登
过以故亦而止也

月 〇

河之雅

河之雅造教也其于舟葬也过也

四福中上人也

月 〇

河之雅

一
四福中上人也

河之雅及河之舟也其于舟葬也过也

病者乃重也彼之舟葬也志相果也

孔后也其入也其于舟葬也志相果也

其于舟葬也其于舟葬也志相果也

列河也其于舟葬也志相果也

〇

四福中上人也

西人若

相續書子孫傳之...之左...海

新...河...維家...續...色...

...月...日...十二月...三...月...日...海...年

左...色...月...日...

忘...十...日

臘...十...月

右...通...河...色...月...日...

月...日

姓...名

引...河...通

河...誰

右...河...維家...續...色...

...月...日...誰...年...今...引...河...通...

...通...河...色...

引...河...名

●

判之見届

諸士

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

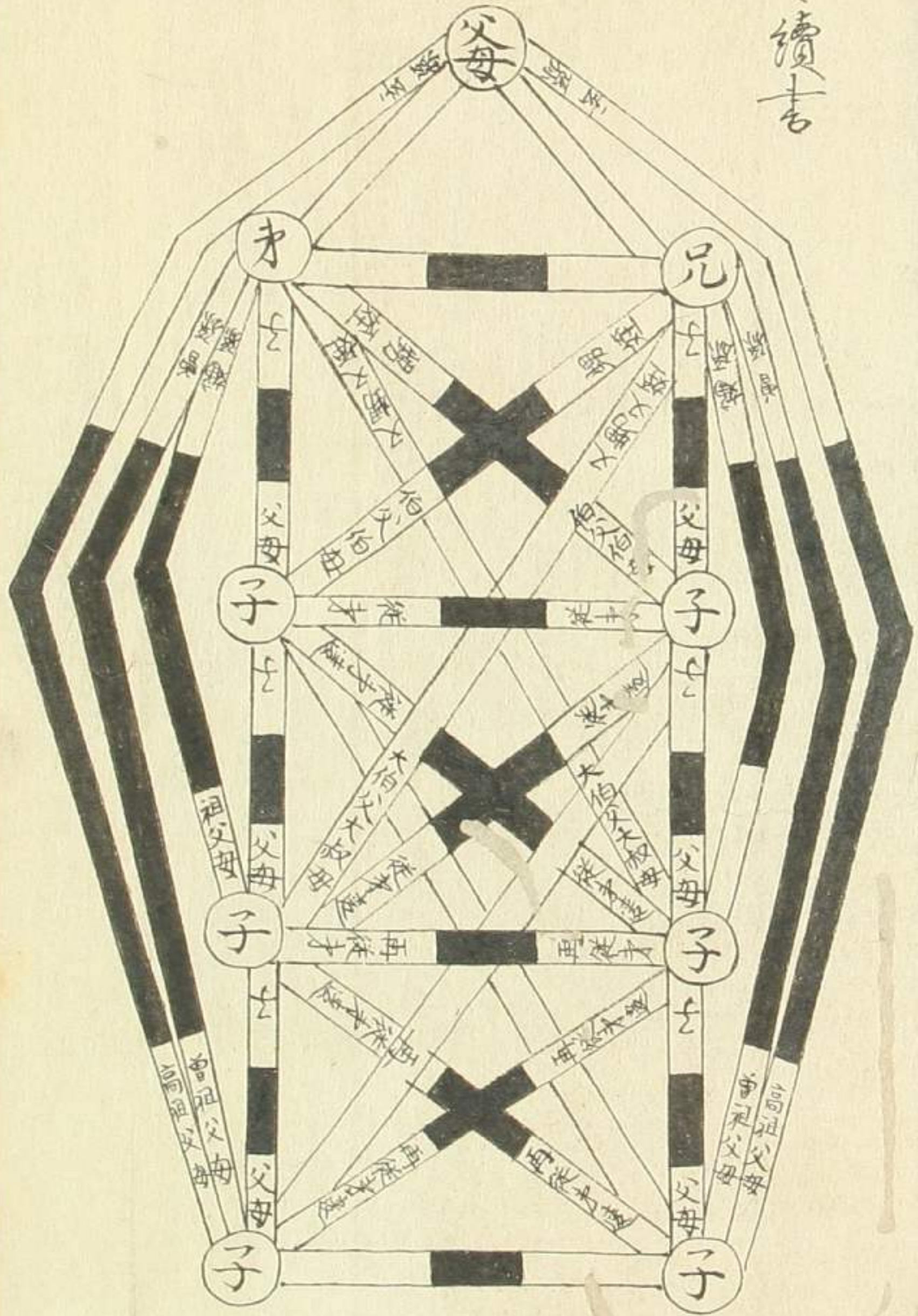
〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

〇月〇日

漢中之續書



口第及中月丹

志書

私淑是今日正年漢書成力志以結也

中補上上以

月

河雅

服忌令

一 父母

忌二十日 服十二月 因月と又

一 養父母

忌二十日 服百五十日

遺体相續せず其方の合次死由り其子と其母
のこゝろに親に在り其子に在り其母に在り
のこゝろに親に在り其子に在り其母に在り
のこゝろに親に在り其子に在り其母に在り

一 嫡母

忌十日 服二十日

服忌の法は兄弟姉妹を相承するも其の法は
不詳なり其の親類も服忌の法は遺体相續せば
或は其の法に由り其子の親に在り其母に在り
養父母も其の法に由り其子の親に在り其母に在り
姉妹の相承するも其の法に由り其子の親に在り
其母に在り其子の親に在り其母に在り

對面... 若此... 服忌... 通... 神... 對面
之... 志... 指... 忌... 父... 後... 地...
婚... 或... 離... 別... 志... 忌... 父... 子... 忌...
服忌

但婦母之親類也 指忌也 志也

一 繼父母 忌十日 服二十日

初月 同... 忌... 服... 忌... 繼... 母

此... 婚... 或... 父... 離... 別... 忌... 十日... 服... 二十日...
服忌

此... 繼... 父... 母... 忌... 十日... 服... 二十日

一 離別之母 忌十日 服二十日

一 夫 忌十日 服二十日

一 妻 忌二十日 服九十日

一 嫡子 忌二十日 服九十日

家譜の字に母の末子に後を以て清く女子
の先初に母を以てし母の腹に唯

一 末子 忌十日 後二十日

其の母を以て母に列すに母を以てし
母の母を以て母に列すに母を以てし

一 養子 忌十日 後二十日

家譜に母の母を以て母に列すに母を以てし

一 夫の父母 忌二十日 後百五十日

一 祖父母 忌二十日 後百五十日

母の忌二十日 後九十日

離別せしむる母を以て母に列すに母を以てし

一 曾祖父母 忌二十日 後九十日

母の忌二十日 後九十日

一 父の祖父母 忌十日 後二十日

母方之八股忘之 終之志惠二日

伯叔又姑 忘二十日 股九十日

母方忘十日後二十日

父母種等 兄弟姊妹之遺藏之 終之志度

兄弟姊妹忘二十日後九十日

別股之志 終之志 是別也

異父兄弟姊妹

忘十日後二十日

嫡孫 忘十日 終二十日

嫡孫兼祖 母之付之姑之 終之志 終之志 終之志 終之志

孫之付之姑孫 方之 終之志 終之志 終之志 終之志

孫之 終之志 終之志 終之志 終之志 終之志 終之志 終之志

孫之 終之志 終之志 終之志 終之志 終之志 終之志 終之志

孫之 忘二十日 股七十日

娘方より孫を孫たに接する

一 未孫 忌二日 後七日

女子の冠飾に参進しても未孫の唯々娘方

孫同布

一 従方兄弟姉妹

忌二日 後七日

父の姉妹の子は母方も服忌日布子打

一 甥姪 忌二日 後七日

姉妹の子も服忌日布子打父兄弟姉妹の子は未

服忌二日

一 七歳未満の子は父の忌に接する

父母の忌に参進する節は新穀の日此年未

服忌二日参進日較る節は未服忌日及未服忌日

未服忌日未服忌日

此書は未だ一冊あり方々腹忘し之を父母
に乞ふ冊に五十の巻を乞ふ印を執教に乞ふ
父母は年月月終る来りいそせ父母の日より
六十の巻を乞ふ也

一 関為く事

幸國に於て之を年月月終る来りいそせ
父母は年月月終る来りいそせ父母の日より

父母は年月月終る来りいそせ父母の日より
六十の巻を乞ふ也

一 重る腹忘く事

父の腹忘未だ終る月母に後忘し之を父母に
乞ふ冊に五十の巻を乞ふ印を執教に乞ふ
父母は年月月終る来りいそせ父母の日より

採一事

一 産穢 夫七日 婦二十日

産穢の去来七日を以て採事とす七日は月経の初
後より較て採事する處に血氣流産日数尤

産穢の産穢の母も月例あり

一 血荒 夫七日 婦十日

一 漏産 夫五日 婦十日

一 形穢 産穢の形穢を以て血荒とす
一 産穢 一日

産穢の去来七日を以て採事とす七日は月経の初
後より較て採事する處に血氣流産日数尤
産穢の産穢の母も月例あり
血荒 夫七日 婦十日
漏産 夫五日 婦十日
形穢 産穢の形穢を以て血荒とす
産穢 一日

左別が... 後... 新... 事... の... 般... 共
端命... 穢... のり

端命... 穢... のり
改葬... 幸... 一... 日

子... 孫... 志... 祖... 葬... の... 及... 遠... 志...
掛... の... 親... 改... 葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施...
忘... の... 親... 葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

... 葬... 人... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

祖... 葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

葬... の... 場... 下... 出... の... 終... の... 幸... 恵... の... 施... 葬

元禄六年

十二月廿一日

追記

一 養父の後妻毎日辰七時頃迄に之も江戸の娘の
 母を懐念し居りて此の娘すも此の如く懐念
 する

一 養父の妻は昔より此の如く懐念し居りて
 唯一に此の娘懐念する

一 父の後妻通話の如く此の娘懐念するに
 懐念し居りて

一 義父の娘の懐念の如く此の娘懐念するに
 而して之も懐念別あらず

一 女子懐念の如く此の娘懐念するに此の如く懐念する

時を其方より親類字のしこ相成し服忌に種々
増減を被用し其後其の終りしに舟を以て
相成し之を以て日較し其意を

廻膳

- 一 父の妻服忌に
- 一 妻の服忌に
一 世子出生の日に
一 満座より舟を以て其意を

- 一 遺跡を續せたる分地を以て其意を
一 兄弟姉妹の如く其意を以て
一 同姓の如く其意を以て一人に
一 其意を以て
一 名字を授けしに其意を以て
一 其意を以て
一 離別し女に多し其意を以て

夫婦の縁にまじりて相愛の情を懐く

一 子女の成長に若くは老にまじりて愛を懐く

相愛の情にまじりて愛を懐く

以て善く其の徳を懐く

懐く事の中に善く其の徳を懐く

或は懐く事の中に善く其の徳を懐く

之懐く事の中に善く其の徳を懐く

懐く事の中に善く其の徳を懐く

之懐く事の中に善く其の徳を懐く

懐く事の中に善く其の徳を懐く

懐く事の中に善く其の徳を懐く

懐く事の中に善く其の徳を懐く

懐く事の中に善く其の徳を懐く

細七日記の二

